

課題名	20 秋播き青首ダイコンの作型確立	分類	①
	初秋播きの萎黄病抵抗性青首ダイコンの優良品種		
試験研究年次	63~2年(完了)		
<p>I 目的</p> <p>萎黄病抵抗性の青首ダイコンの中から、初秋播き年内採りで根部形質に優れ、障害根の発生が少ない品種を選定する。</p>			
<p>II 試験方法</p> <p>1 供試品種(「萎黄病抵抗性」とされた品種のみ供試)</p> <p>緑輝、YRくらま、D-2(以上タキイ種苗)、宮小町、YR五日町(以上渡辺採種場)、与作、青づまり(以上中原採種場)快進2号(武蔵野種苗)、新打総太り(カネコ種苗)、新冠総太り(トキタ種苗)、試交881号(山陽種苗)、TOA920(東北種苗)他38品種</p> <p>2 試験規模 1区 5m² 2区制</p> <p>3 耕種概要</p> <p>(1) 播種期 9月10日(63年)、9月20日(1年) 9月14日(2年)</p> <p>(2) 栽植密度 畝幅120cm、株間25cm、2条植え(6,666株/10a)</p> <p>(3) 施肥量 N=13kg、P₂O₅=13kg、K₂O=13kg/10a</p>			
<p>III 主要成果の概要</p> <p>根部形質と障害株の発生状況及び収量性等から、「緑輝」と「YRくらま」が優れている。しかし、萎黄病多発地域では萎黄病に対して強度の抵抗性を示す「宮小町」が適する。</p> <p>1 「緑輝」は、裂根等の障害株の発生が少なく、ス入りも遅い。根部形質は「中」程度である。やや短根の割には抽根長は15cm前後と長く、収穫は容易である。収量は安定して多い。</p> <p>2 「YRくらま」は、抽根長が長い為収穫作業が容易である。根部の揃いも良好で安定して多収を示す。根部形質は「中」程度であり、ス入りは遅いが年によって裂根が多発する。</p> <p>3 「宮小町」は、萎黄病に対し極めて強い抵抗性を示し、肌艶等の根部形質は優れ、障害株の発生も少ない。根長が30cm前後と短根系で収穫は容易である。収量は幾分少ない。</p>			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 収穫時期及び収穫時の根部の特性 (1年、2年)

品 種 名	* 収穫時期		** 平均根重		* 根長	* 抽根長	* 青首部の長さ
	最適期	収穫期間	1年	2年	cm	cm	cm
緑 輝	12.22	12.18~1.8	1.21	1.44	36.6	14.7	7.7
YRくらま	12.20	12.15~1.8	1.27	1.46	39.7	15.7	7.4
宮小町	12.20	12.15~1.8	0.99	1.16	31.4	10.2	7.9
D - 2	12.22	12.18~1.8	1.26	1.31	38.0	13.9	9.6
YR五日町	12.24	12.18~12.28	0.99	0.99	30.1	9.1	2.7
与 作	12.22	12.18~1.8	1.27	1.39	34.2	14.8	7.0
青づまり	12.22	12.18~1.8	1.20	1.36	36.5	16.2	10.5
快進2号	12.22	12.18~12.28	1.32	1.31	37.4	14.2	9.0
新打総太り	12.20	12.18~12.28	1.09	1.43	35.4	13.8	5.5
新冠総太り	12.20	12.18~1.8	1.36	1.16	37.7	16.0	6.0
試行881号	12.20	12.15~12.28	1.17	1.42	38.5	14.9	9.6
TOA920	12.24	12.18~1.8	1.25	1.25	36.6	14.7	7.5

注) ① * : 1年度
 ② ** : 1年度は12月18日と12月22日収穫の平均
 2年度は12月4日と12月13日収穫の平均

第2表 収穫時の根部の形質と障害株の発生 (63年、1年、2年)

品 種 名	根 部 の 形 質				障 害 株 の 発 生 割 合							* 萎黄病 抵抗性 程 度	
	青首色	尻詰	肩張	肌艶	裂 根			空 洞			ス入り		黒すじ
					63年	1年	2年	63年	1年	2年			
緑 輝	中	中	中	中	%	%	%	%	%	%	%	%	
YRくらま	中	中	中	中	13.3	4.8	0	0	0	0	0	0	○
宮小町	良	中	良	良	0	0	0	3.7	0	0	0	0	◎
D - 2	良	中	良	良	0	0	0	0	0	3.6	0	0	×
YR五日町	竹劣	中	中	中	5.0	0	0	0	0	8.3	7.1	0	◎
与 作	中	中	良	良	0	0	0	6.9	4.2	6.4	0	0	
青づまり	良	中	良	良	0	0	4.2	0	4.2	0	0	0	×
快進2号	中	中	良	良	0	0	0	7.7	0	0	0	0	×
新打総太り	中	中	中	良	0	0	2.1	0	3.7	0	3.7	0	
新冠総太り	中	中	中	良	0	0	0	0	7.4	0	7.4	7.4	
試行881号	良	中	中	良	0	0	2.1	0	7.1	4.2	0	7.1	○
TOA920	良	中	良	良	0	2.1	0	3.4	0	3.4	0	0	△

注) ① 根部分質の評価: 良~中~竹劣~劣
 ② 萎黄病に対する抵抗性程度は現地調査より ◎: 強 ○: やや強 △: 中 ×: 弱

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 年内採り青首ダイコンの品種選定の資料として活用できる。
- 2 裂根は、生育後期における根部の急激な肥大が原因と考えられるので、'YRくらま'を栽培する場合には、基肥や後期の追肥を控え目とする。

VI 今後の研究上の問題点

VII 資料名

63~2年度 福岡県農業総合試験場園芸研究所 野菜試験成績書